

# トキと共生する佐渡の里山

～農業の価値を未来につなぐ～



世界では、脱炭素などの気候変動対策に続く国際的な問題として、生物多様性の保全が取り上げられており、カーボンニュートラルに次ぐ世界目標にネイチャーポジティブが挙げられ、気候変動と生物多様性の相乗効果とトレードオフの関係性など、活発な議論が行われています。

佐渡市でも、自然生態系の損失をこの離島である佐渡から食い止める「ネイチャーポジティブ」宣言を発信し、農業分野においても朱鷺と暮らす郷づくり認証制度を基本として、無農薬無化学肥料栽培米の拡大等から生物多様性を育む佐渡ブランドの強化に取り組みます。併せて、水田除草機の導入や栽培技術の向上に向けた支援を行うことで、豊かな生物多様性と高い生産技術を育み、農業経営の安定化を図ります。

また、市内の保育園・小中学校での食農授業・環境教育に引続き取組み、世界農業遺産に認定された、生物多様性を育む豊かな自然や農村文化への理解を深めるとともに、給食に無農薬無化学肥料栽培米をはじめとする有機農産物を提供することで、生産から消費、環境教育まで一体となった佐渡の環境ブランドを創り、農産物の高付加価値化につなげます。

地域循環共生圏の創出やゼロカーボンアイランドの推進とともに、環境投資や循環型経済が促進されるようオーガニックアイランド（オーガニックビレッジ）の実現に向けた取組を進めて参ります。

令和5年11月10日 佐渡市長 渡辺 竜 五

